南アルプス市における
地球温暖化対策の取組みについて

南アルプス市　市民部 環境課



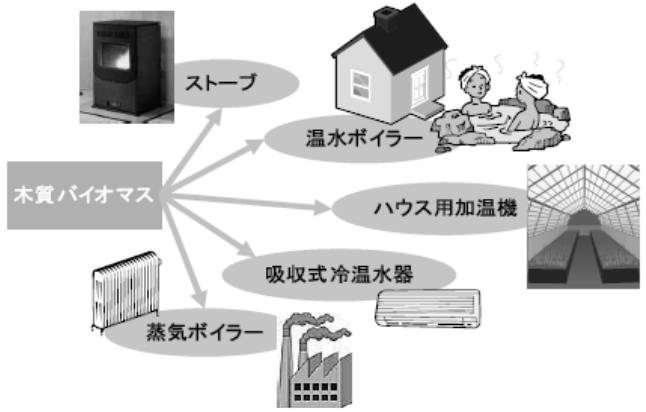
南アルプス市の温暖化対策事業

本市の「豊かな自然環境」から生み出される「新エネルギー」を導入し、率先的かつ先進的な温暖化対策に取り組んでいる。

全国屈指の日照時間	急峻な地形と豊富な水量	山林と果樹園からの木質資源
太陽光発電の導入	**小水力発電の整備**	**木質バイオマスの推進**
これまでに公共施設へ合計583kw規模の太陽光発電システムを導入	H21年度に最大出力100kwの金山沢川水力発電所を整備	「木質バイオマス詳細ビジョン(H21年度)」、「バイオマスタウン構想(H22年度)」策定







公共施設への太陽光発電システムの導入状況

No.	導入年	発電容量（kw）	発電場所
1	H15/H23.1	55.18	南湖小学校・体育館
2	H17/H22.10	35.86	甲西中学校
3	H17	3.3	白根御池小屋
4	H18	20.04	白根百田小学校
5	H20.12/H24.7	42.99	櫛形中学校・武道館
6	H21.4	2.745	南アルプスクラインガルテン
7	H22.2	10	大明保育所
8	H22.3	29.65	八田中学校
9	H22.3	29.8	若草中学校
10	H22.3	19.76	八田小学校
11	H22.3	29.8	若草小学校
12	H22.3	20.16	健康福祉センター(白根支所)
13	H22.7	10	消防署
14	H22.10	19.8	白根巨摩中学校
15	H22.10	19.8	小笠原小学校
16	H22.10	19.8	大明小学校
17	H23.1	37.51	白根東小学校（体育館）
18	H23.1	10	南アルプス市役所
19	H23.3/H26.3	38.66	白根御勅使中学校（武道館・体育館）
20	H24.11	20	甲西児童館
21	H24.12	40	若草支所
22	H26.4	22	南湖保育所
23	H27.2	15	櫛形生涯学習センター
24	H28.3	11.4	八田消防署
25	H29	19.4	落合小学校
26	R5.8	20	若草保育所
	合計	602.655	

令和７年度発電量

623,323ｋｗｈ

ＣＯ２削減量

約260ｔ

※令和７年度の電力事業者ごとのCO2排出係数（東京電力の値）０．４１８kg-CO2/kWhを使用

「太陽光発電システム」等設置費補助状況

平成２２年度より補助金制度創設（南アルプス市）

※令和7年度補助実績

蓄電池	3万円（定額）	127件
ペレットストーブ	5万円（定額）	3件
電気自動車	10万円（定額）	23件

補助金総額　　6,260千円

PPP（官民連携）による太陽光発電システム導入

■官民連携（PPP）を活用した「負担付き寄付」により市内2箇所の公共施設に計60ｋｗの太陽光発電システムを導入





【若草支所】 40kW

発電開始：平成24年12月
設置形状：陸屋根
年間発電予測量：52,000ｋＷｈ
自立運転時最大：20 kW

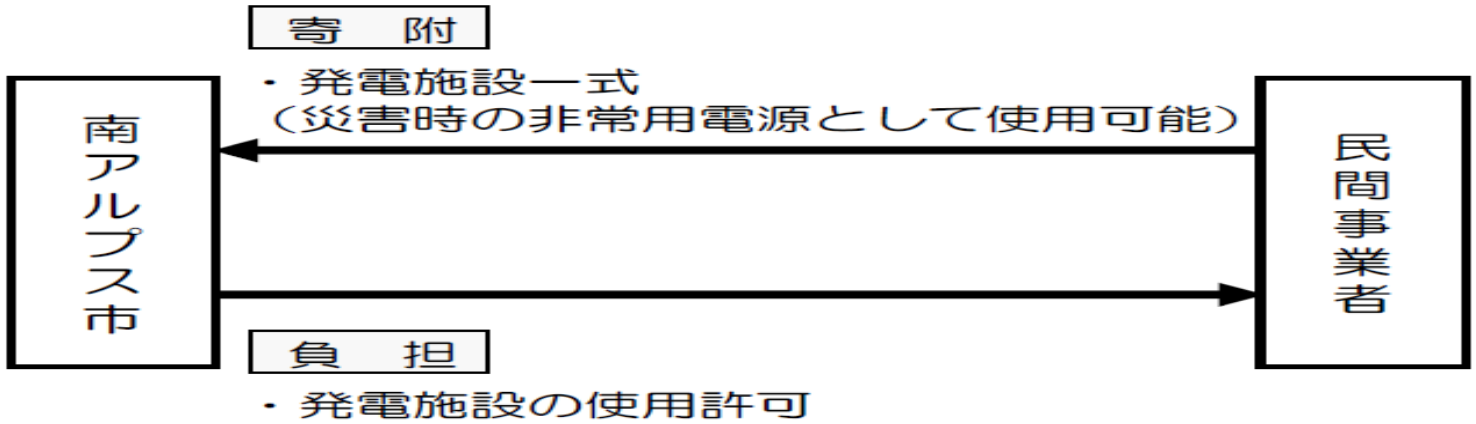
【甲西児童館】 20kW

発電開始：平成24年11月
設置形状：切妻屋根
年間発電予測量：26,000ｋＷｈ
自立運転時最大：10 ｋＷ

官民連携による太陽光発電システム導入

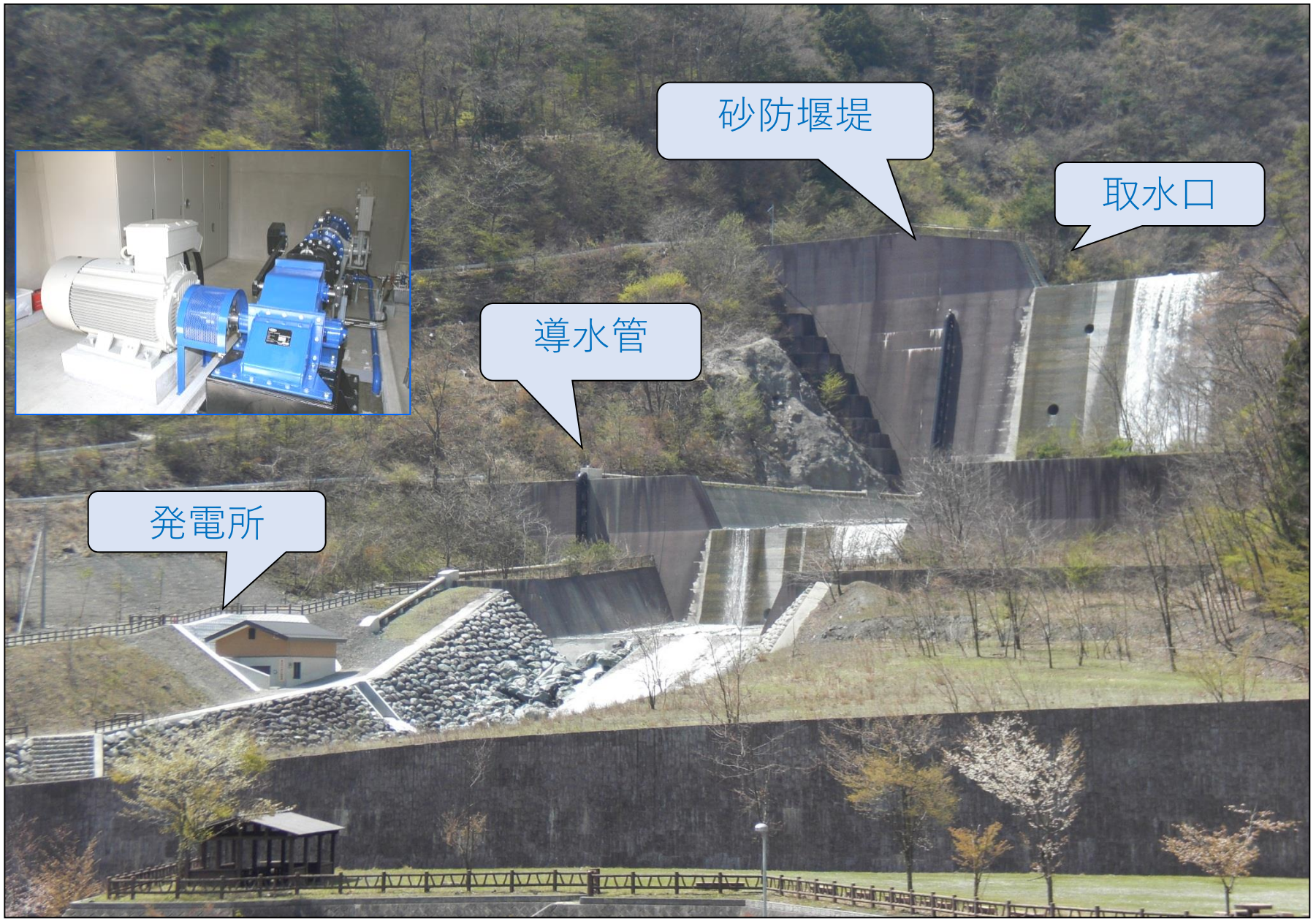
■官民連携方式（PPP）「負担付き寄付」により市内2箇所の公共施設に計60ｋｗの太陽光発電システムを導入

①民間企業が全ての費用を負担し、発電施設一式を寄付（市の負担は０）
②市は一定の期間、寄付者に無償で発電施設を貸与

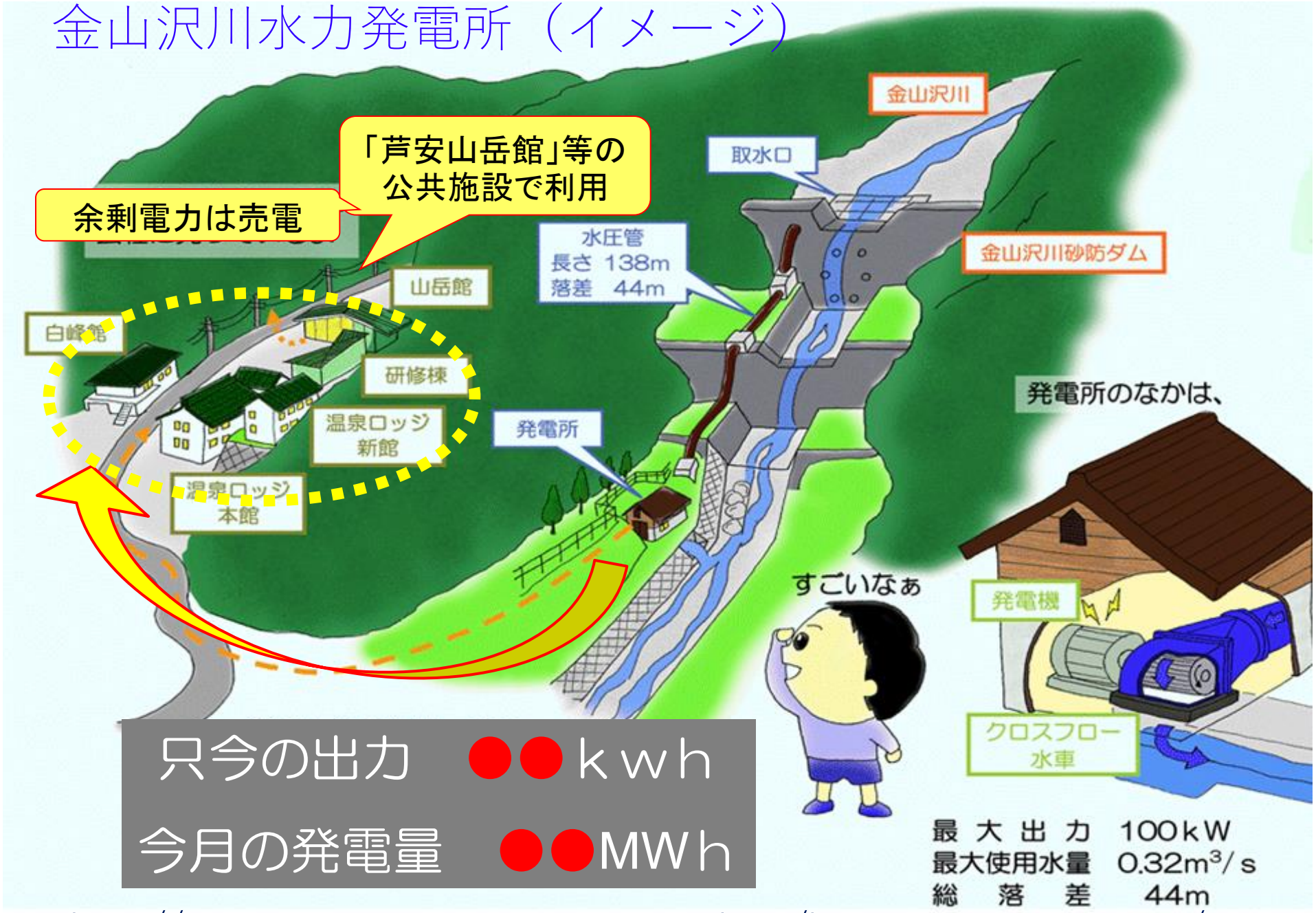


③民間企業は売電収入により投資額を回収
④民間企業は投資額を回収後、発電施設を市に返還
　■貸与期間は最長15年間
　■売電収入が一定額に達した時点で15年未満でも返還
⑤災害時系統電源が使用できない場合は地域が非常用電源として無償で使用できる

金山沢川水力発電所（全景）



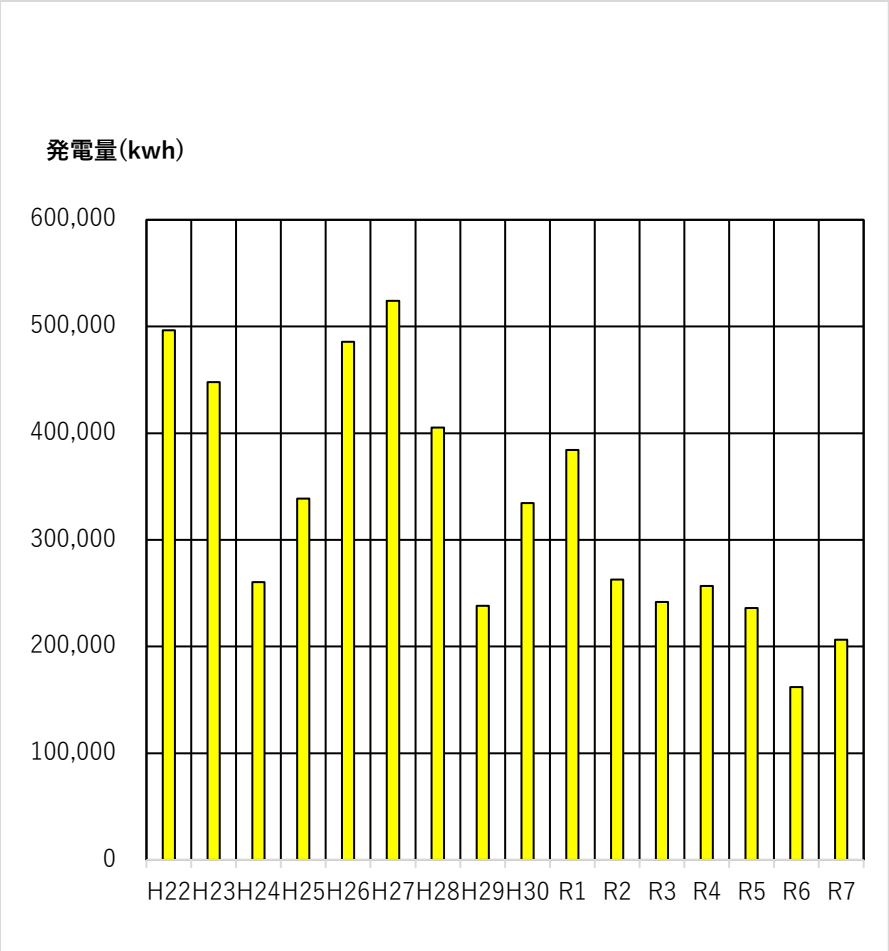
金山沢川水力発電所（イメージ）

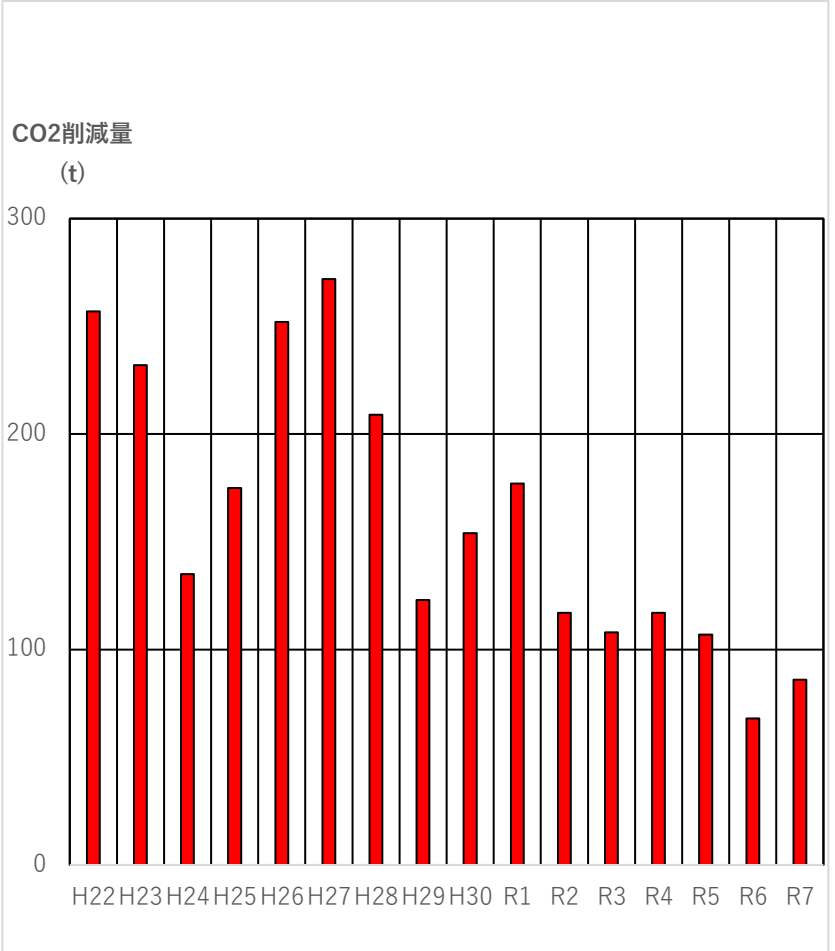


http://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/kanayamasawa-power/

年度別の総発電量とCO2削減量
（平成22年度～令和7年度）

H22年度	496,530
H23年度	447,880
H24年度	260,350
H25年度	338,800
H26年度	485,810
H27年度	524,200
H28年度	405,270
H29年度	238,350
H30年度	334,590
R1年度	384,190
R2年度	262,760
R3年度	241,900
R4年度	256,940
R5年度	236,160
R6年度	161,970
R7年度	206,390





H22年度	257
H23年度	232
H24年度	135
H25年度	175
H26年度	252
H27年度	272
H28年度	209
H29年度	123
H30年度	154
R1年度	177
R2年度	117
R3年度	108
R4年度	117
R5年度	107
R6年度	68
R7年度	86

※令和7年度の電力事業者ごとのCO2排出係数
(東京電力の値) 0．４１８kg - CO2/Kwhを使用

金山沢川水力発電所（発電状況とCO2削減量）

年　　度	総発電量(kwh)	CO2削減量(ｔ)
H22	496,530	257
H23	447,880	232
H24	260,350	135
H25	338,800	175
H26	485,810	252
H27	524,200	272
H28	405,270	209
H29	238,350	123
H30	334,590	154
R1	384,190	177
R2	262,760	117
R3	241,900	108
R4	256,940	117
R5	236,160	107
R6	161,970	68
R7	206,390	86

※令和７年度の電力事業者ごとのCO2排出係数（東京電力の値）０．４１８kg-CO2/kWhを使用

金山沢川水力発電所（オフセット・クレジット）

【オフセット・クレジット（J-VER）創出事業】

金山沢川水力発電所で発電した電力のうち、芦安山岳館等の公共施設で消費した電力から排出権を創出

平成22年度分で90tのオフセット・クレジット（J-VER）を創出

平成23年度分で56tのオフセット・クレジット（J-VER）を創出

平成24年度分で55tのオフセット・クレジット（J-VER）を創出

平成25年度分で71tのオフセット・クレジット（J-クレジット）を創出

平成26年度分で83tのオフセット・クレジット（J-クレジット）を創出

平成30年度で101tのオフセット・クレジット（J-クレジット）を創出

（平成27年度、28年度、29年度分）

令和　3年度で157tのオフセット・クレジット（J-クレジット）を創出

（平成30年度、令和元年度、2年度分）

公共施設への木質ペレットストーブ導入事業



No.	設置場所	設置年度	No.	設置場所	設置年度
1	南アルプス市役所本庁舎１Ｆロビー	H22	17	道の駅しらね	H23
2	南アルプス市役所東別館１Ｆ	H22	18	芦安支所　→　生涯学習課	H23
3	南アルプス芦安山岳館　事務所	H22	19	教育委員会	H23
4	南アルプス市役所　環境課内	H23	20	白根保育所　遊戯室	H23
5	南アルプス市役所西別館	H23	21	櫛形中央保育所　遊戯室	H23
6	南アルプス芦安山岳館展示室①	H23	22	白根御池小屋	H24
7	南アルプス芦安山岳館展示室②	H23	23	南アルプス市役所西別館２Ｆ	H24
8	南アルプス市役所芦安支所	H23	24	北岳山荘	H24
9	甲西児童館	H23	25	南アルプス市役所　市民活動支援課	H24
10	落合小学校　図書館	H23	26	南アルプス消防署甲西分遣所	H24
11	八田児童館	H23	27	櫛形健康センター	H25
12	若草なかよし児童館→北岳山荘	H23	28	南湖保育所　→　収税対策課	H25
13	白根百田小学校　図書館	H23	29	県民の森　森林科学館	H26
14	八田支所　→　甲西支所	H23	30	南アルプス市市民活動センター	H27
15	櫛形西小学校　図書館	H23	31	南アルプス市農業体験実習館　樹園	H27
16	南アルプス市役所甲西支所	H23	32	南アルプス市消防本部八田消防署	H27
			33	南アルプス市西別館２Ｆ	H28

■化石燃料の代替として木質バイオマスを利用

⇒　南アルプス市役所からのCO2排出量の削減　⇒　年間約　33t　CO2削減

■展示性の高い公共施設へのペレットストーブ導入による一般家庭への普及啓発

⇒　市内一般家庭からのCO2排出量の削減へ

※排出量算定根拠：80日間×10kg（1日使用量）×33台＊0．5（化石燃料換算）＊2．489 kg-CO2/ℓ
（灯油1ℓに対するCO2排出係数）